

■ 2022年度 豊岡市地方創生事業実施効果検証報告（「第2期豊岡市地方創生総合戦略第4版」）

資料4

戦略目的		暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	
KPI（重要業績評価指標）	人口の社会増減の緩和（転入－転出）	基準値 (2019)	△442人（転入1,893人－転出2,335人）
		目標値 (2024)	△388人
		2022実績	△257人（転入1,950人－転出2,207人）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

KPI（重要業績評価指標）	2023.3月末	
	目標値	実績値
豊岡市公式ウェブサイト閲覧数	1,210,000件	1,683,715件

具体的手段 01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている

KPI（重要業績評価指標）	2023.3月末	
	目標値	実績値
豊岡市移住定住ポータルサイト閲覧数	136,000件	152,654件

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
				目標値			実績値
1	情報戦略推進（豊岡ファンミーティング、国内向けホームページ改修、広告宣伝、観光パンフレット改訂）	来訪者の情報行動に沿って豊岡ならではの魅力や楽しみ方を発信する。 周囲の人にも本市の良さを伝えてくれる“豊岡ファン”との関係を構築・強化し、旅の目的地・滞在先としての認知向上、リピートや地域内周遊による滞在時間の延長につなげる。	・参加者数 ・メディア掲載数	40人 85件	72人 1件	【成果】 今までの東京における情報発信の集大成として、市内で開催し、現場のリアルや関連分野以外の取組みに触れていただく良い機会となった（満足度、他者への推薦指数も高い結果を得た）。 【課題】 市外参加者との交流の場の不足。 【今後の対応】 市内各地域持ち回り開催とし、可能な限り、地域資源や人が関わる形式での開催を検討する。	大交流課 （観光政策課）

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
2	Uターン推進（移住プロモーション）	移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」で市民ライターが豊岡のリアルな暮らし（地域事情・住まい・仕事等）を記事やSNSで発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。	・ SNS (Facebook・Twitter) のフォロワー数 ・ SNSの情報発信回数	5,300件 240回	5,583件 308回	【成果】 コロナ禍をきっかけに、都市部在住者で地方への興味を持つ方が増加した。それに伴い、「飛んでるローカル豊岡」のサイト閲覧数及びSNSのフォロワー数も増加した。民間の移住情報サイトでも発信を続けており、人気地域に選ばれるなど発信の効果が見られた。 【課題】 今後の新型コロナウイルスによる規制等が緩和される中で、地方移住への関心を引き続き持つてもらうために発信を工夫する必要がある。 【今後の対応】 市民ライターや地域のまちづくりに携わる方と連携し、多様なプロジェクトを発信する。また、イベント等の開催規制が緩和されたため、交流の場も増やしていく。	環境経済課 （地域づくり課）

具体的手段 01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
KPI（重要業績評価指標）	
2023. 3月末	
目標値	
実績値	
新規就職者数（ジョブナビ豊岡登録企業）	170人 141人

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
3	Uターン推進（ジョブナビ豊岡・ジョブナビ豊岡運営、就活応援ブック作成等）	オンラインを含めた仕事の相談会や企業情報サイト「ジョブナビ豊岡」効果的な情報発信を行う。 市内企業35社を集めた但馬合同説明会をオンラインで開催し、市内企業とのマッチングを図り、Uターン就職を促進する。 若者の多様な働き方や、市内在住者のおすすめスポットなどを紹介した「就活応援ブック」を作成し、市内高校を通じて大学生等に配布する。電子版には市内の企業情報も掲載する。	・ ジョブナビ豊岡登録企業が出会った求職者数	8人/社	18人/社	【成果】 コロナ後を見据えた企業の求人数が増加したことに伴い、企業と求職者の面接等の機会が増えた。 【課題】 求人の状況が変化しやすい環境下のため、雇用支援等の取組内容も柔軟性のある対応が求められる。 【今後の対応】 有効求人倍率は1.4倍を超える高い水準であり、企業は人手不足の状況であるが、Uターン就職する若者の数は年々減少しているため、都市部での就職希望者にどうアプローチし、Uターンへ繋げるかがカギと考える。	環境経済課 （地域づくり課）

具体的手段 01-03		移住・定住を検討する人に情報が提供されている					
KPI（重要業績評価指標）				2023.3月末			
				目標値	実績値		
移住組数（窓口相談等の利用者）				45組	58組		
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
			目標値	実績値			
4	Iターン推進（民間移住相談窓口の設置、空き家実態調査実証業務等）	<p>総合窓口を設置し、移住希望者への「地域・住まい・仕事等」の情報提供や、企業とのマッチング等を行う。</p> <p>都市圏（東京・大阪）の移住イベントに出展し、豊岡への来訪や移住に導く。</p> <p>移住相談と現地案内等の一部の業務を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行う。</p> <p>移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐWEBサービス「SMOUT（スマウト）」を利用し、移住者及び関係人口を増加させる。</p> <p>専用のアプリを用いた空き家調査を、エリアを限定して行い、調査データをデジタル化し、空き家情報の発信等に活用する。</p>	・移住検討者の視察・訪問数	85回	65回	<p>【成果】 視察の訪問者数は減少したが、2020年度から移住者数が増加し、3年連続で100人を超えた。世代別で見ると30歳代や10歳代未満が前年より増加し、子育て世帯の移住が増加した。</p> <p>【課題】 コロナ禍の影響もあり、移住相談件数が年々減少している。</p> <p>【今後の対応】 コロナ後における地方移住への動きを把握し、的確な支援を行う。</p>	環境経済課（地域づくり課）
5	定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）	<p>移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を向上させ、移住を促進する。</p> <p>市内の空き家を対象として、芸術文化観光専門職大学生等の学生向けシェアハウスを整備する事業者を経費の一部を補助する。</p> <p>東京圏からの移住者を支援する。</p>	・改修・引越し費用の補助金交付実績	16件	33件	<p>【成果】 視察時の補助金利用者は減少したが、空き家改修補助金の利用者は増加しており、市内の空き家活用が進んできた。</p> <p>【課題】 移動や宿泊費の補助については、補助内容を一部変更した関係により、利用者の延べ人数が減少した。</p> <p>空き家に関しては、移住者からのニーズが高い賃貸用空き家が少なく、掘り起こしが必要である。</p> <p>【今後の対応】 賃貸用空き家の物件数を増やしていく。</p>	環境経済課（地域づくり課）

主要手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
---------	---------------------------------

KPI (重要業績評価指標)	2023. 3月末	
	目標値	実績値
豊岡に価値や魅力を感じる市民の割合	52.0%	45.4%

具体的手段 02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている
-------------	----------------------

KPI (重要業績評価指標)	2023. 3月末	
	目標値	実績値
IT企業誘致件数	1件	3件

No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
6	IT企業誘致推進	オンラインによるマッチングイベントを活用し、IT企業を誘致する活動を展開する。 ターゲット企業を絞った効果的な誘致活動を行うため、IT企業誘致支援業務を委託する。	・IT事業所開設補助金 新規交付決定者数	1人	3人	【成果】 コロナ禍により企業訪問を中止した。 【課題】 コロナ禍でも企業面談が実現できる仕組みを構築する必要がある。 【今後の対応】 サテライトオフィス開設を検討する企業と面談できるオンラインマッチングイベントに出展することで、IT企業誘致を推進する。	環境経済課
7	スマート農業推進	コウノトリ育む農法の水管理省力化を、低コスト機器で実証するとともに、水位及び水温のデータをスマートフォン等で確認できる水田センサーを併用設置し、収量及び品質向上を図る。	・実証圃場における一等米比率	85%以上	72%	【成果】 自動水門+水田センサーを組み合わせた実証試験を行うことができた。 【課題】 最終結果は、収穫までの様々な要因に左右されてしまう。 【今後の対応】 生産者部会等と情報共有を図り、当該試験で得られた成果を普及する。	農林水産課

具体的手段 02-02		新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている					
KPI（重要業績評価指標）		2023.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
		目標値	実績値				
創業件数		22件	20件				
新規就農者数（青年等就農計画の認定者）		3人	5人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
			目標値	実績値			
8	内発型産業育成（ビジネス相談窓口・創業支援、豊岡市継業バンクの運用等）	市内創業希望者や市内企業を対象にしたビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA」を運営する。 創業・事業承継に取り組む者のスタートアップに要する経費を支援する。 具体的な目標（営業利益や付加価値額など）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。 豊岡市継業バンクにより事業承継を推進する。	・ビジネス相談窓口の相談者数 ・ステップアップ事業創出数	30人 15件	76人 21件	【成果】 相談者76人のうち、男性は40人（52.6%）、女性は36人（47.4%）であった。また40歳以下は66人（86.8%）と、若者や女性が相談しやすい体制となっている。また、相談窓口を通じて5人の起業家が生まれている。 ステップアップ支援補助制度では、21事業の支援を実施し、市内事業者の成長を支援した。 【課題】 長引くコロナ禍での影響に加え、エネルギー価格や原材料価格の高騰など激しい経営環境変化への適応が求められている。 【今後の対応】 ビジネス相談窓口からの創業・起業が活発に生まれるよう、補助制度の充実と伴走支援を継続する。	環境経済課
9	政策アドバイザー設置	豊岡市の政策・施策を推進するため、ソーシャルビジネス、まちづくりにおけるデザイン等について、専門的立場から助言等を行う3名の政策アドバイザーを設置する。	・新たな政策立案数 ・案件数	5件 20件	0件 15件	【成果】 市の施策における方針等において、多岐にわたる項目で、専門的立場から助言をいただいた。 【課題】 施策によっては、助言いただく分野に偏りが生じている。 【今後の対応】 定期的に助言を求める形式ではなく、必要がある際に随時アドバイスを依頼する形式で進める。	大交流課 （観光政策課）
10	豊岡スマートコミュニティ推進機構	「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」の実現を目指す。 公共交通、防災・環境・エネルギーなどのテーマを設け、課題解決を図るための取組みを進める。	・課題解決のための施策数	4件	4件	【成果】 デジタルを活用した交通安全事業、ハッカソンの開催等、課題解決のための施策に取り組んだ。 【課題】 地元関係者を含めた運営体制の強化 【今後の対応】 地元関係者を含めた運営体制を検討するため、先進地視察や、関係者との連携強化を進める。	DX・行財政改革推進課

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
11	新規就農総合支援	若手就農者へ農業用機械導入等の初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する豊岡農業スクール生や新規就農者への家賃補助を行う。 就農直後の所得を確保する資金や、先代事業者からの経営の承継・発展を支援する資金を交付し、若者の農業への定着を図る。	・ 青年等就農計画認定者	3人	5人	【成果】 農業スクール卒業生を中心に、新規就農者及び農業後継者の確保に繋がっている。 【課題】 市内農業の課題（広大な優良農地を使用する経営体の後継者確保）と就農支援施策の関連強化 【今後の対応】 集落営農組織等と連携した新規就農の促進策を検討する。	農林水産課
12	豊岡農業スクール	市内の先進農業者を受入先とし、就農に必要な生産技術や経営能力を習得するための研修を実施する。事業運営は、豊岡市認定農業者連絡協議会に業務委託する。研修期間は最長3年間。	・ 農業スクール入校生人数	3人	3人	【成果】 生産や経営の技能をもつ農業人材の育成に繋がっている。研修後の市内就農者は25人（独立自営18人、雇用7人）。 【課題】 市内農業の課題（広大な優良農地を使用する経営体の後継者確保）と人材育成の関連強化 【今後の対応】 研修生の希望する農業分野を尊重しながら、集落営農組織等への研修生の派遣を促進する。	農林水産課
13	地域おこし協力隊の推進	総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。	・ 隊員数（3/31現在）	45人	47人	【成果】 募集実績：募集人数17名、応募数60名、委嘱決定者数14名 卒業者（途中解嘱者含む）の定住率は83%（10/12人）と高い数値になった。 【課題】 隊員数が多くなり、隊員間も誰がどこで何をしているかわからない状況になっている。隊員同士がつながる場の提供することが求められている。 【今後の対応】 地域活動の質及び定住率を向上するため、隊員同士の交流会を実施し、隊員が孤立しないような体制を整える。	環境経済課 （地域づくり課）

具体的手段 02-03		豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている					
KPI（重要業績評価指標）		2023.3月末		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署		
		目標値	実績値				
鞆製造品出荷額		111億円	84億円				
鞆産業における「カバンアルチザンスクール生」及び「鞆縫製者トレーニングセンター受講者」の新規雇用者（正社員）数		8人	9人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
			目標値	実績値			
14	豊岡鞆ブランドPR推進	「豊岡鞆」ブランドの価値を向上させる取組みを支援し、基盤産業である鞆産業の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊岡市内鞆関係企業への1ターン就職者数（当該年度新卒以外就職者及び翌年度新卒内定者）</li> <li>財布・革小物製造に取り組む事業所</li> </ul>	12人	9人	<p>【成果】 豊岡鞆の認知度向上、市外出身者の鞆業界への就職により労働力が確保できた。</p> <p>【課題】 新型コロナの影響により、百貨店で販売、PRの機会が減っている。オンライン上のPR強化が必要。各社がスクール生の就職活動のサポートを積極的に出来るよう後押しが必要。</p> <p>【今後の対応】 豊岡鞆のブランディング強化により魅力度を向上させ、鞆に関心のある若者を外部から呼び込み、業界の成長を促す。</p>	環境経済課

具体的手段 02-04		市民が多様な人々を受け入れている					
KPI（重要業績評価指標）				2023.3月末			
				目標値	実績値		
アーティスト・クリエイター移住者数				5人	1人		
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
			目標値	実績値			
15	多文化共生推進	子育て支援総合拠点で外国人市民相談会・交流事業及び研修会等を開催する。 市役所窓口等にICTを活用した映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語による情報提供や相談対応を図るとともに、日本語教室、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。	・外国人市民の日本語教室への参加人数	170人	170人	<p>【成果】</p> <p>新たに実施した「多文化交流サロン」では、外国人市民と日本人が交流する機会となった。また、多文化共生のための研修会等を実施し、支援者等が外国人市民への理解を深めることができた。</p> <p>1年間で外国人住民が約150人増加し、日本語教室への参加希望者が増え、2つの外国人支援団体に受け入れていただいた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も増加傾向にある外国人住民へのコミュニケーション支援・生活支援と、外国人市民も地域活動に参画できる取組みがさらに必要となる。</li> <li>・相談員・通訳者、日本語学習ボランティア等の人材の発掘と育成が必要である。</li> </ul> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語相談員の配置と外国人相談窓口の拡充</li> <li>・外国にルーツを持つ子どもの支援及び日本語学習ボランティア等の養成及び研修</li> <li>・地域、雇用事業所等への働きかけ</li> </ul>	生涯学習課 （地域づくり課）
16	子育て支援の総合拠点等整備	アイティ4階の整備に引き続き、7階の整備を行う。7階では、こども支援センター及び子育て支援のための場を設置し、子どもや子育て家庭の支援を行う。	・子育て支援の総合拠点等整備	完成	完成	<p>【成果】</p> <p>11月に7階にこども支援センターがオープンした。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>場の整備が完了し、新たな施設が出来上がった。この施設を活用し、地方創生総合戦略を推進していく。</p>	こども育成課 （こども支援課）

主要手段 03		いきいきと暮らす女性が増えている	
KPI（重要業績評価指標）		2023. 3月末	
		目標値	実績値
女性従業員の2/3以上が「働きやすく働きがいがある」と評価している事業所数		5事業所	17事業所

具体的手段 03-01		性別に関わらず地域での協働が進んでいる					
KPI（重要業績評価指標）		2023. 3月末					
		目標値	実績値				
ファミリーサポートセンター会員数		280人	330人				
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末 目標値 実績値			
17	ジェンダーギャップ解消推進	<p>「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」(2021年3月策定)に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進する。</p> <p>男性の座談会の開催や意識啓発・理解促進ツールの制作を行う。また、ジェンダーフリーの絵本を配布し、保育・教育に活用する。</p>	<p>・男女格差の解消が進んでいると感じる市民の割合</p> <p>【暮らしの中で男女格差を感じる市民の割合】</p> <p>・地域の意思決定・方針決定に参画する女性の割合</p> <p>【地域コミュニティ組織における女性役員の割合】</p>	<p>全体80% 男性80% 女性80%</p> <p>30%以上</p>	<p>-</p> <p>14.6%</p>	<p>【成果】</p> <p>意識啓発ワークショップ等を地域コミュニティや地域マネージャー、小・中・幼・保の管理職、中学生、区長等役員などを対象に開催し、延べ371人が参加。地域では、女性が意思決定・方針決定に参画する仕組みづくりや事業見直しに着手されたり、学校では、ジェンダーの視点で学校経営や児童への関わりなどについて考えていただくなど、個々の意識変容や行動変容につながっている。</p> <p>女性の人材育成プログラム「豊岡みらいチャレンジ塾2022」を全5回のプログラムで実施し、定員枠を拡大し34人が受講。修了生の中から、ゲストハウスの起業、特別地方公共団体の財産区議会議員選挙に当選（130年の歴史の中で初の女性議員誕生）、今まで女性が受験してこなかった国家資格取得にチャレンジされるなど、一歩踏み出す女性の後押しとなっている。</p> <p>【課題】</p> <p>固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が地域社会に根強く残っている。無意識の偏見や固定観念に気づき、行動変容につながる取組みを対象ごとに継続して行う必要がある。</p> <p>ジェンダー視点の主流化に向けた庁内推進体制の整備や女性のエンパワーメントを含む人材育成も継続して行う必要がある。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>①戦略の進行管理とジェンダー視点の主流化の推進 ②市民の理解拡大と浸透に向けた研修・ワークショップの実施（地域コミュニティ、教員、幼稚園教諭・保育士など） ③女性の人材育成プログラム「豊岡みらいチャレンジ塾2023」開催 ④家庭向けコミュニケーションシートの作成 ⑤ジェンダー平等をテーマとしたオリジナル絵本の制作</p>	ジェンダーギャップ対策室

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
18	子育て広場管理	「子育て広場芝生化実行委員会」の協力により、5か所の子育て広場の除草等の維持管理を行う。 子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人がいっしょに憩う広場として利用促進を図る。	・子育て広場芝生化実行委員会などにより適切に管理ができている広場の数	6カ所	6カ所	【成果】 地域における子どもの遊び場として認知され、利用がされている。 【課題】 地域住民による継続的な広場の維持管理が必要となる。 【今後の対応】 地域住民で組織されている広場の管理団体に対して、管理物品の提供や管理費の支援を行う。	健康増進課
19	ファミリーサポートセンター	会員同士の相互援助が円滑に図れるよう、専任アドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、交流事業等を行う。 子育て支援総合拠点へ移転する。	・ファミリーサポートセンター会員数  ・送迎や預かりなどの支援サービスを利用している人の人数	280人  70人	330人  40人	【成果】 ファミリーサポートセンターが認知され、登録者数が増加した。 【課題】 預かり手である「まかせて会員」の確保 【今後の対応】 引き続き、広報を進めるとともに、会員間の交流を活性化させる。	こども育成課 (こども未来課)

具体的手段 03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	
	KPI（重要業績評価指標）	
	2023. 3月末	
	目標値	実績値
	—	—

具体的手段 03-03		ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている					
KPI（重要業績評価指標）				2023.3月末			
				目標値	実績値		
子育て中の就労促進事業による就職内定者数				30人	—		
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
				目標値	実績値		
20	ワークイノベーション推進	女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指し、経営者や従業員等の意識改革、行動改革を促す。	・女性従業員の2/3以上が働きやすく働きがいがあると評価している事業所数	5事業所	17事業所	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所対象のセミナー（経営者、管理職、女性従業員、男性従業員向け）を計8回開催し、延べ45事業所、66人が参加。初めて参加する事業所もあった。また、近隣や県内を中心にジェンダーギャップの解消に積極的に取り組む自治体へ声掛け、参加を得るなど横展開に繋がる動きもあった。</li> <li>・市内10事業所で従業員の働きやすさ、働きがい等に関する従業員意識調査を実施。377人が回答。</li> <li>・従業員の働きやすさ、働きがいが高い水準にある事業所を表彰する制度に10事業所が申込み、うち1事業所を表彰。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの参加者数を増やす。</li> <li>・従業員の働きやすさ、働きがいにつながる優良事例の事業所間での可視化、共有。</li> </ul> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性マネジメント層向けと若手従業員向けセミナーを実施する。</li> <li>・従業員の働きやすさ、働きがいにつながる優良事例を可視化、市内事業所で共有し、取組みを拡げていくために、市内事業所有志で構成するワークイノベーション推進会議と連携し、研修会、優良事例共有会などを実施する。</li> </ul>	ジェンダーギャップ対策室
21	子育て中の女性の就労促進	働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援）にもあわせて取り組み、「デジタルスキル」を装着し、生き生きと働く女性のロールモデルを示す。 子育て支援総合拠点において、子育て中の働きたい女性の就労支援に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プチ勤務による市内の子育て中の女性と事業所のマッチング件数</li> <li>・市内の子育て中の女性を対象としたDX人材の育成数</li> </ul>	0件	0件	<p>【成果】</p> <p>2022女性デジタルマーケティング人材の育成については、8名が受講終了し、内2名がデジタル関連で就業、内2名が個人事業主で売り上げ増加に活用中、内2名が就業継続しながら起業等の準備中、内1名が就業中の事業所の売り上げ増加に活用中、内1名が就職活動中。</p> <p>【課題】</p> <p>セミナー開始時は10名でスタートしたが、5カ月後の講義終了時には8名となった。事前の丁寧な相談・説明会の開催や選考面談などの実施により、ミスマッチなどで途中ドロップアウトを防ぐ努力はしているが、セミナー途中での離脱防止が課題である。</p> <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の女性デジタル人材育成の好循環を継続して取り組む。</li> <li>・内閣府の女性デジタル人材育成プランの全国の好事例として紹介され、年間50件近い視察や問合せがあり、全国の自治体への横展開を効率的・効果的に進めていきたい。</li> </ul>	ジェンダーギャップ対策室

主要手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている			
---------	-----------------	--	--	--

KPI（重要業績評価指標）	2023. 3月末	
	目標値	実績値
移輸出額（兵庫県市町民経済計算統計）	230,875百万円	公表前

具体的手段 04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
-------------	-----------------------	--	--	--

KPI（重要業績評価指標）	2023. 3月末	
	目標値	実績値
観光消費額（インバウンド宿泊者）	2,124百万円	257百万円
豊岡演劇祭の市外からの来訪者数	2,800人	1,265人

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
22	城崎温泉街交通環境改善	城崎温泉街で観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができるよう、城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動を行う。 桃島バイパスを活用した交通迂回策の検討協議を行う。	・温泉街で自動車と歩行者が混在しており危険だと感じる人の割合	75%	80%	【成果】 6月に駐車場事業者とフリンジパーキングの勉強会を開催し課題を確認し、12月には駐車場利用状況調査及び関係事業者を集めて課題解決に向けたワークショップを開催した。 【課題】 温泉街への車両流入抑制策の検討と地域住民の合意形成 【今後の対応】 桃島バイパス整備後の交通のあり方について、社会実験の実施を視野に入れ、検討を継続する。	建設課

No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
23	観光事業（公衆無線LAN運用、高付加価値化ツーリズム推進、国内誘客キャンペーン業務等）	<p>国内外のテレビ、雑誌等の編集者などを招聘し、市の取組みや観光素材の取材を通して、メディア等への露出や旅行商品造成につなげる。</p> <p>観光に関する様々な客観的データを取得・分析、活用し、観光による地域への経済波及効果を高める。</p> <p>無料で利用できる公衆無線LAN環境やワーケーションを実施するための環境など受入環境の基盤を整え、来訪者の満足度向上とより多くの“豊岡ファン”を創出する。</p> <p>豊岡市ならではの高付加価値コンテンツを造成し、市内の周遊促進、観光消費額の増大及び新たな顧客の開拓を図るとともに、観光地マネジメント力の向上につなげる。</p> <p>「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、大交流ビジョンの実現に向けた国内誘客促進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内メディア掲載数</li> <li>海外メディア掲載数</li> <li>来訪者アンケート収集サンプル数（国内）</li> <li>来訪者アンケート収集サンプル数（海外）</li> </ul>	85	100	<p>【成果】</p> <p>コロナ禍の影響もありながら、メディア掲載数は目標値を超える成果となった。</p> <p>【課題】</p> <p>成果については、世情の影響を受けやすい。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>コロナ禍であっても、海外メディア掲載数が増加したのは、状況に応じた継続的な情報発信を行っていたこともあるので、今後も世情に配慮しながら継続的な情報発信に努める。</p>	大交流課 （観光政策課）
24	観光まちづくり推進（専門人材配置）	<p>専門的な視野を持った経営人材やマーケティングの専門家などを豊岡観光イノベーションに配置する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人観光客宿泊者数</li> </ul>	112,000人泊	6,616人泊	<p>【成果】</p> <p>コロナ禍により、引き続き、延べ宿泊者数は激減している。</p> <p>【課題】</p> <p>2022年10月に訪日海外渡航解禁されたことにより、訪日回復してきていることもあり、誘客を加速させる必要がある。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>2022年度に反転攻勢のウェルカムキャンペーンを実施しており、引き続きプロモーションを強化して誘客を図る。</p>	大交流課 （観光政策課）
25	インバウンド誘客推進	<p>海外現地レップ（情報発信等代理店）、本市外国語版ホームページ等による情報発信を中心とした事業を実施する。</p> <p>対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、訪日観光再開時における本市への誘客につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google全体での検索回数（"Kinosaki"）※英語・フランス語</li> </ul>	96,000回	416,000回	<p>【成果】</p> <p>継続的な情報発信や、訪日渡航解禁等もあり、昨年度と比較して大幅な検索回数の増加となった。</p> <p>【課題】</p> <p>コロナ明けの海外旅行需要の高まりの中で、旅行先として選定されるために、戦略的なプロモーションが必要である。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>市場動向等把握による戦略的なプロモーションを実施していく。</p>	大交流課 （観光政策課）

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
26	豊岡演劇祭協同開催	<p>豊岡演劇祭2022を市内文化施設等で上演し、国内外からの誘客を図る。</p> <p>また、フリンジ型の演劇祭として5年でアジアNo.1、10年で世界有数の演劇祭を目指し、「演劇のまち・豊岡」としてのブランドイメージを構築する。</p>	・豊岡演劇祭おける市外来場者数	2,800人	1,265人	<p>【成果】 昨年の中止を経て、2年ぶりに初めて客席数に制限を設けずに開催し、延べ18,250人が来場した。</p> <p>【課題】 一部日程で宿泊先が確保できない状況が生じた。</p> <p>【今後の対応】 観光協会等との連携を強化し、宿泊先の確保に努める。</p>	大交流課 （観光政策課）
27	文化観光推進	<p>城崎国際アートセンター内に整備したテレワーク拠点施設の利用促進のため、モニターツアーの実施と、雑誌等とのタイアップによる情報発信を行う。</p> <p>大道芸を中心としたパフォーマンス公演を市内各地で実施し、賑わいと市民や観光客がアートに触れる機会を創出する。</p> <p>多くの舞堂（歌舞伎舞台）が現存する但東地域において、舞台芸能を地域とともに再考し、新たな文化資源へと昇華させ、地域の子どもたちとワークショップを通じた神楽作品の創作と公演を行う。</p> <p>2021年度に作成した“深さをもった演劇のまちづくり”紹介動画の冊子版を制作し、豊岡市の取組みを市民や市内外の企業へ発信する。</p> <p>リニューアルオープンする玄武洞公園のホームページを制作し、情報発信を行う。</p>	・豊岡演劇祭延べ来場者数	5,723人	18,250人	<p>【成果】 大道芸パフォーマンスや神楽作品の創作、深さをもった演劇のまちづくり紹介冊子の制作を行うなど、深さをもった演劇のまちづくりを推進した。</p> <p>【課題】 文化観光推進法における文化芸術振興費補助金の採否</p> <p>【今後の対応】 文化芸術振興費補助金を活用しつつ、深さをもった演劇のまちづくりを一層推進する。</p>	大交流課 （観光政策課）

具体的手段 04-02		メイドイン豊岡が世界に広がっている					
KPI (重要業績評価指標)				2023. 3月末			
				目標値	実績値		
コウノトリ育むお米輸出総量				52.0トン	18.6トン		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値	実績値		
28	コウノトリ育むお米ブランド化推進	海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。	・コウノトリ育むお米輸出総量	52.0トン	18.6トン	<b>【成果】</b> 輸出総量を現状維持することができた。 <b>【課題】</b> 国内販売が好調であり、海外へ向けた販売原料が不足している。 <b>【今後の対応】</b> 関連事業者との関係性維持に努め、視察対応等にも対応する。	農林水産課

具体的手段 04-03		国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている					
KPI (重要業績評価指標)				2023. 3月末			
				目標値	実績値		
アーティスト・イン・レジデンス滞在者数 *累計				1,670人	2,353人		
アーティスト・クリエイター移住者数				5人	1人		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値	実績値		
29	出石永楽館歌舞伎	豊岡のイメージアップと交流人口拡大による地域経済活性化に寄与する事業として、「第13回永楽館歌舞伎」を開催する。	・市民チケット販売数	1,200枚	0枚	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止。	出石振興局 地域振興課
30	芸術文化参与の設置	「最先端の芸術文化による若者の誘引」戦略アドバイザーとして、引き続き芸術文化参与を設置し、地方創生総合戦略の推進を図る。	・芸術文化施策の立案に参考とした助言の数	5件	8件	<b>【成果】</b> 文化芸術創造交流事業の取組みを協議する会議体「文化芸術創造交流事業協議」を、2022年度から、豊岡市の総合的な文化芸術施策の取組みを協議する「豊岡市文化芸術連携会議」へと移行。年間を通して3回会議を実施し、助言等を得ることができた。 <b>【課題】</b> 特になし <b>【今後の対応】</b> 引き続き、豊岡市の芸術文化政策についての助言・指導を得る。	文化・スポーツ振興課

No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
				目標値			実績値
31	豊岡アートシーズン2022	文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している演劇や音楽など多彩なジャンルのプログラムを「Toyooka Art Season 2022 (豊岡アートシーズン2022)」として広報する。 市内の小学2年生全員を対象に子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演、6年生全員を対象に「出石永楽館狂言鑑賞教室」公演及び主に若年層・子育て世代を対象に、「豊岡アート縁日」を開催する。	・文化施設利用者数	339,000人	68,601人	【成果】 市内で開催される様々な文化事業を「Toyooka Art Season」として一つのパッケージにまとめ、一体的に情報発信を行った。主要事業12事業と参加事業74事業を実施。うち、16事業は民間団体が主催する事業を公募し応募を得たもので、前年度比で8事業の増となった。取組みが広く市民へ浸透してきたことを実感することができた。 【課題】 参加者数の拡大 【今後の対応】 より多くの方に参加いただけるよう、引き続き関係部署と連携し合い、豊岡市内の文化芸術事業について一体的な広報を行っていく。	文化・スポーツ振興課
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催 (豊岡アートシーズン2022参加)	第8回おんぶの祭典 (子どもたちのためのコンサート、学校訪問コンサート、街角コンサート、稽古堂イブニングコンサート、グランドフェスティバル (キッズコンサート・ファイナルコンサート)) を開催する。	・高校生以下の参加者数	2,000人	1,160人	【成果】 感染症対策を講じながら、生の音楽を体験できる機会を提供し、子どもたちが音楽に対する興味を持つことができた。 【課題】 コロナの制限緩和にあわせ、より音楽を身近に感じられるよう演奏者とのふれあいの機会や楽器に触れることができる方法の検討。 【今後の対応】 実行委員会を中心に、豊岡市や教育委員会と連携した事業運営を継続する。	生涯学習課 (文化・スポーツ振興課)
33	城崎国際アートセンター事業 (アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2022参加等)	芸術文化の国際的戦略拠点として運営するとともに、芸術活動、地域との連携体制及び情報発信を強化するため、専門的な知識を有する人材を配置し運営体制の強化を図る。	・アートシーズン参加事業、ほか地域交流プログラム参加者数	1,300人	1,840人	【成果】 渡航制限がありながらも、徐々に海外アーティストが来日できるようになり、2021年度から延期となっていたプログラムも実施することができた。また、豊岡アートシーズンの事業としてコミュニティプログラム3件を始動したことや、滞在アーティストが複数回イベントを実施するケースが急増。そのため事業数が例年よりも多く、コロナ禍のなか来場者数目標値を大きく超える実績値となった。 【課題】 特になし 【今後の対応】 コミュニティプログラムを継続して実施し、市内からの来場者の割合および関心を現状よりもあげていくことを意識し、引き続き今まで施設へあまり来ることのなかった年代・背景をもつ市民へのリーチを心がける。	大交流課 (文化・スポーツ振興課)

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
34	アーティスト・イン・レジデンス	公募により選考された国内外からのアーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。また、市民に優れた舞台芸術に触れる機会を提供する。	・公募プログラムの応募件数 ・うち海外からの応募件数	60件 30件	51件 15件	【成果】 コロナ禍の影響を受けつつも15か国51組からの応募があり、12組を採択した。各SNSでの公募プログラムの情報発信回数は、過去最多となった。 【課題】 西欧およびアジアからの応募は多いがそれ以外の地域の国からの応募は少ない。 【今後の対応】 引き続き、海外関係団体やアーティストとのネットワーク構築と広報活動に取り組む。	大交流課 （文化・スポーツ振興課）
35	アーティスト・クリエイター移住等促進	アーティスト・クリエイターのオンラインによる移住説明会・相談会を開催する。 市内のコワーキングスペースの利用体験モニターツアーを実施する。 市内案内ツアーを実施し、芸術文化観光専門職大学の学生に卒業後も豊岡に住み続けてもらうためのきっかけづくりを行う。	・アーティスト・クリエイターの移住者数	5人	1人	【成果】 芸術文化観光専門職大学にもターゲットを広げ、大学生を対象としたイベントを開催した。 【課題】 2023年度は、専門職大学1期生が3年生となり、就職活動が本格化する。 【今後の対応】 専門職大学生が卒業後も一定数豊岡に定住できるよう、支援を継続する。	大交流課 （観光政策課）
36	演劇のまちづくり推進	「深さをもった演劇のまちづくり」を推進していくため、まちづくりコーディネーターを配置する。 「深さをもった演劇のまちづくり」を対外的にPRすることにより、豊岡のまちづくりに共感する企業を増やし、企業版ふるさと納税の獲得を目指す。	・企業版ふるさと納税寄付金額	25,000千円	14,500千円	【成果】 寄付獲得のための取組みを増やし、昨年度の倍以上の寄付を獲得した。 【課題】 演劇のまちづくりPRの促進 【今後の対応】 新たに作成した演劇のまちづくりPR冊子を有効に活用し、寄付獲得を図る。	大交流課 （観光政策課）

具体的手段 04-04		世界の人々と対等に向き合える人材が増えている					
		KPI (重要業績評価指標)		2023. 3月末			
				目標値	実績値		
		イングリッシュサマーキャンプ参加生徒数		54人	0人		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値	実績値		
37	専門職大学連携推進	芸術文化観光専門職大学内に設置されている「地域リサーチ&イノベーションセンター」と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。	・課題解決にかかる事業件数	5件	5件	【成果】 地域リサーチ&イノベーションセンターと協同して、専門職大学教員等の専門的見地によって、地域課題解決の1つの機会となった。 【課題】 取組み初めの事業もあるため、事業毎の課題を抽出し、改善しながら進めていく必要がある。 【今後の対応】 大学と連携を密にして効果的な事業として取り組む。	大交流課 (観光政策課)
(再掲)	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ(中学校3年生対象)等を実施する。	・中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	65%	60%	【成果】 全小・中学校において、豊岡市英語教育カリキュラムや学習指導要領に則り、日本人教員と外国語指導助手の連携により、英語遊び・外国語活動・英語科の授業を行った。なお、8月に開催予定であった「イングリッシュ・サマーキャンプ」は、コロナの影響により開催を中止した。 【課題】 小学校教員の英語指導力の向上。小・中学校の連携強化。 【今後の対応】 豊岡市英語教育カリキュラムの見直しや各中学校区内での小中合同研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。	こども教育課 (学校教育課)

主要手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
---------	-----------------------

KPI (重要業績評価指標)	2023. 3月末	
	目標値	実績値
	小学生 66.9%	小学生 54.8%
	中学生 42.5%	中学生 43.6%

具体的手段 05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
-------------	---------------------

KPI (重要業績評価指標)	2023. 3月末	
	目標値	実績値
	小学生 86.7%	小学生 84.3%
	中学生 84.0%	中学生 86.6%

No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
38	ふるさと教育推進	「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置付け、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。	・今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	小学生 95.9%	小学生 84.1%	【成果】 豊岡の「ひと・もの」に直接出会い、学ぶことで、子どもたちがふるさとのすばらしさを感じ、ふるさと意識を高めることができた。 【課題】 子どもたちが、ふるさと学習での学びを自分の在り方や生き方につなげて考えるところまで高めていくこと。 【今後の対応】 学習前後の自分自身と比較したり、多様な感じ方や考え方に触れたりする機会を増やしていく。	こども教育課 (学校教育課)
39	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	市内のものづくり企業の認知度向上を目的に、豊岡市工業会が開催する企業展示等ものづくり体験教室の支援を行う。	・「おっとりっしゃ!とよおかのものづくり」への来場者数 ・ものづくり体験教室参加者数	550人 440人	470人 402人	【成果】 多くの来場者があり、ものづくり企業への認知度が高まった。 【課題】 さらなる来場者獲得のための魅力的な発信や、参加企業の多様化。 【今後の対応】 参加企業から若手社員を募り、企画段階から様々なアイデアを出せるような体制を検討中。	環境経済課 (豊岡市工業会)

具体的手段 05-02		子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている					
KPI (重要業績評価指標)				2023. 3月末			
				目標値	実績値		
自分自身が関わって豊岡を良くしていこうと思う高校生の割合				60%	49%		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値	実績値		
40	高校生の総合学習等支援	学校内での地域探究や仕事や企業の探究活動、学校外での高校生キャリア塾等の活動に対して支援を行う。	・ふるさとへ愛着を持っている高校生の割合	65%	66%	<p>【成果】</p> <p>各高校で地域探究の授業が実施され、地域のことを知り、考える機会が増えてきている。また、地域おこし協力隊がサポートする高校生地域サークルがサードプレイスの回答にも上がっており、学校外での交流が増えていると感じている。</p> <p>【課題】</p> <p>サードプレイスを持つ高校生は依然として少ない。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>地域おこし協力隊が手掛けているサードプレイスや地域とかかわるプロジェクトと連携し、高校生と地域がつながる機会を増やす。</p>	環境経済課 (地域づくり課)

具体的手段 05-03		子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる					
KPI (重要業績評価指標)				2023. 3月末			
				目標値	実績値		
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童・生徒の割合				小学生 86.6%	小学生 87.0%		
				中学生 80.8%	中学生 81.2%		
中学校卒業時の英検3級以上相当の英語力を有する生徒の割合				65%	60%		
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値	実績値		
41	コミュニケーション教育推進	すべての小学校6年生と中学校1年生が演劇的手法を用いて、コミュニケーション能力の向上を図る。	・話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童・生徒の割合	小学生 86.6%	小学生 87.0%	<p>【成果】</p> <p>通常の授業の中に「めざすコミュニケーション能力の視点」を活かした活動を取り入れ、他者を受け入れ自分の考えを広げ深めながら課題解決を図る協働的な学びが行われている。</p> <p>【課題】</p> <p>通常の教科学習や特別活動などにおいて、めざすコミュニケーション能力の視点を取り入れて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。</p> <p>【今後の対応】</p> <p>教育活動全体で、他者と合意形成を図りながら課題解決に向けて粘り強く取り組む活動を通して非認知能力の向上を図る。</p>	こども教育課 (学校教育課)

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023.3月末			
				目標値			実績値
42	英語教育推進	小学校1年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる環境を整え、小学校から中学校にわたる9年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることでできる力を高める。 教員の研修会やイングリッシュ・サマーキャンプ（中学校3年生対象）等を実施する。	・中学校卒業時の英語検定3級以上相当の英語力を有する生徒の割合	65%	60%	【成果】 全小・中学校において、豊岡市英語教育カリキュラムや学習指導要領に則り、日本人教員と外国語指導助手の連携により、英語遊び・外国語活動・英語科の授業を行った。なお、8月に開催予定であった「イングリッシュ・サマーキャンプ」は、コロナの影響により開催を中止した。 【課題】 小学校教員の英語指導力の向上。小・中学校の連携強化。 【今後の対応】 豊岡市英語教育カリキュラムの見直しや各中学校区内での小中合同研修を実施し、教員の指導力の向上を図る。	こども教育課 （学校教育課）
43	豊岡の未来を創る高校生支援	高校版ローカル&グローバル教育に取り組む豊岡総合高校の生徒を対象に、カナダ・ピクトリア市が主催する語学研修への参加費用を補助する。	・参加生徒のサマースクールスタッフ数(累積)	40人	0人	【成果】 カナダでの語学研修への参加は中止した。 【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3年連続事業実施できない状況がある。 【今後の対応】 2022年度を最終年とし、事業廃止。	こども教育課 （学校教育課）
44	非認知能力向上対策	市内すべての小学校1年生を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施するとともに、効果測定を行う。	・アンケート調査は実施するが、KPIの目標値としては適さない	—	—	【成果】 市内全小学校1年生で3回の演劇ワークショップを実施した。青山学院大学による効果測定分析結果によると、ワークショップの事前/事後で3つの調査項目「やり抜く力(自己効力感)」「自制心」「協働性」について、プラスの変化があり、演劇ワークショップの実施が非認知能力の向上につながることが分かった。 【課題】 演劇ワークショップの取組を教科教育や学校行事等の教育活動にどう生かしていくのかが課題である。 【今後の対応】 市内全小学校1年生で演劇ワークショップを年3回実施することに加えて、小学校2年生で8校9学級で先行実施する。また、子どもへのかかわりやプログラムのねらいを担任と共有し、教育活動に反映させていく。	こども教育課 （学校教育課）
45	英語遊び保育推進	就学前（4、5歳児）の子どもたちを対象に、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う英語遊び指導員を巡回派遣する。	・「英語遊びは楽しい」と思っている園児の割合	96.5%	96.4%	【成果】 2017年度から全市的に継続的に展開しており、保育現場にも浸透してきおり、安定的な展開ができています。 子どもたちは、巡回訪問時の英語遊びだけでなく、園内外の日常において、英語を言ってみたり、英語の歌を口ずさんだりする場面が見られるようになっている。 【課題】 ・小学校の英語教育との確かな接続と情報共有 ・6名の指導員による指導内容の質の保障 【今後の対応】 公立園6園の閉園に伴い、巡回訪問実施(延べ)回数が減少することから指導員体制を4名とし、綿密な情報交換、意識共有を図ることとする。また、小学校との連続性を見据えた事業展開を図る。	こども育成課 （幼児育成課）

主要手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている		
KPI (重要業績評価指標)		2023. 3月末	
		目標値	実績値
婚姻数		285組	秋公表

具体的手段 06-01	若者が集い、交流する場が増えている						
KPI (重要業績評価指標)		2023. 3月末					
		目標値	実績値				
婚活イベントによる成婚数		1組	1組				
No.	事業名	事業内容	KPI (重要業績評価指標)		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
			目標値	実績値			
46	民間団体への婚活イベント補助	独身男女の多様な出会い機会を創出するため、民間団体が主催する婚活・恋活イベントへ補助する。	・成婚数 ・カップル成立数	1組 10組	0組 0組	【成果】 イベントを開催する団体がなく、成果につながらなかった。 【課題】 感染防止のため、婚活イベントが企画・実施されない。 【今後の対応】 実績の把握、評価が困難であり、イベントを企画する団体がないことから、2022年度で補助制度を廃止し、市が主催となるイベントを充実させる。また、今後の民間団体等の動向に注意しながら対応を検討する。	健康増進課 (地域づくり課)
47	若者独身者交流	「婚活事業」は敷居が高いと感じて参加しない層をターゲットに、カップリングを行わない交流の場を設ける。	・若者参加者数 (延べ人数)	240人	189人	【成果】 新たな若者の出会いの機会が増えた。(成婚数：1組) 【課題】 当初は、自由参加としていたため、参加者数が確定できず、効率的なイベント運営ができなかった。 【今後の対応】 事前申込みにより、参加数を確定することにより、効果的なイベント運営を行う。	健康増進課 (地域づくり課)

具体的手段 06-02		多種多様な出会いの機会が充実している					
KPI（重要業績評価指標）				2023. 3月末			
				目標値	実績値		
出会い機会創出事業実施による成婚数				10組	6組		
No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
			目標値	実績値			
48	ボランティア仲人養成（ウェディングプロデュース大作戦）	女性が男性のプロフィールを見て希望相手を選び、お見合いを行う機会を創出する。	・成婚数 ・お見合い数	3組 50件	0組 63件	【成果】 成婚数は目標を達成することはできなかったが、市の結婚支援施策を周知し、若者登録者を増やす機会となった。 【課題】 イベントとしての目新しさが薄れてきている。 【今後の対応】 若者の意向やファッション専門家の意見を取入れ、事業内容を改善する。	健康増進課（地域づくり課）
49	出会い機会創出（はーとピー）	婚活応援プロジェクト「はーとピー」（婚活イベント）を実施し、結婚を支援する。 また、専任の結婚支援員を置き、希望者には細やかなアフターフォローを行う。	・成婚数 ・カップル数	7組 56件	6組 56件	【成果】 事業を継続的に実施することで、成婚数の目標を達成できなかったが、概ね計画どおりの事業の実施ができた。 【課題】 事業を継続していくためには、新規の参加者を増加させる必要がある。 【今後の対応】 若者や専門家の意見を取り入れ、魅力ある事業内容とするとともに、若者に対する周知方法を検討する。	健康増進課（地域づくり課）

具体的手段 06-03 交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している

KPI（重要業績評価指標）	2023. 3月末	
	目標値	実績値
ボランティア仲人による成婚数	5組	13組
結婚相談所による成婚数	8組	2組

No.	事業名	事業内容	KPI（重要業績評価指標）		事業実施に伴う成果及び課題等の分析	担当部署	
			指標設定	2023. 3月末			
				目標値			実績値
50	ボランティア仲人養成（縁結びさん）	ボランティア仲人「縁結びさん」を養成し、活動を支援する。 縁結びさんが結婚相談所や婚活イベント等に行かない独身者層のご縁を取り持ち、結婚を支援する。	・成婚数（「ウェディングプロデュース大作戦」による出会いを除く） ・お見合い件数（「ウェディングプロデュース大作戦」によるお見合いを除く）	5組 136件	13組 289件	【成果】 目標を大きく上回る成婚数を達成することができた。 【課題】 さらなる若者登録者の増加とボランティア仲人の資質向上が必要となる。また、ボランティア仲人が積極的に活動できる環境の整備が重要である。 【今後の対応】 ボランティア仲人に対する研修を実施するとともに、事務局との連携・情報共有や若者との相談体制を整備を図るため、相談室の設置などを検討する。	健康増進課 （地域づくり課）
51	結婚相談所機能拡充	社会福祉協議会の結婚相談所ボランティア相談員の成婚報奨金を補助する。また、担当職員、相談員の資質向上のため、研修費を補助する。	・成婚数 ・お見合い数	8組 220件	2組 199件	【成果】 新規登録者数が減ることにより、成婚数も減っている。 【課題】 新規若者登録者数が増加しない。 【今後の対応】 2022年度から相談日を土曜日に設定するなど、若者が気軽に相談できる環境づくりに努める。また、市の結婚支援事業とも連携を行い、お見合い数を増加させる。	健康増進課 （地域づくり課）
52	結婚・女性活躍促進調査	結婚の支援、女性の活躍（子育て応援）を推進するため、研修、視察等を行い、より効果的な事業の推進を図る。	・「ハートリーフ協議会」開催回数	2回	0回	【成果】 2019年度をもって協議会を廃止している。 はーとピー実行委員会やイベント参加者に意見を聞くことにより、対応できている。 【課題】 特になし。 【今後の対応】 当面協議会の設置は考えていない。	健康増進課 （地域づくり課）